保 証 書　出張修理

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。
※お買い上げ日・お客様・販売店の欄に記載のない場合は無効になりますから必ずご記入ください。

形式 SCS-J200D/SCS-J200E	製造番号	※お客様	お名前
※お買い上げ日　平成　年　月　日			ご住所 〒
保証期間　お買い上げ日より 1 年			電話 (　　)
※販売店	住所・店名 電話 (　　)		ジャニス工業株式会社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町 2 丁目 88 番地 TEL. (0569) 35-3151

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の落下、運送等による故障および損傷。
   (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   (ニ) 本書のご提示がない場合。
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   (ヘ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
   (ト) ご使用による容器の汚れ。
   (チ) 消耗部品の交換
2. 出張修理を行なった場合には出張に要する実費を申し受けることがあります。
3. 修理のために取りはずした部品は特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、ジャニス工業お客様相談係にご相談ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理年月日	損傷と処置	サービス担当者

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

お問い合わせ

●アフターサービスのお問い合わせ（温水洗浄便座専用フリーダイヤル）

0120-117-817　受付時間／9:00 ～ 18:00　定休日／土、日、祝日

ジャニス工業株式会社

本　社：〒479-8577　愛知県常滑市唐崎町 2 丁目 88 番地　TEL (0569) 35-3151
FAX (0569) 34-6634

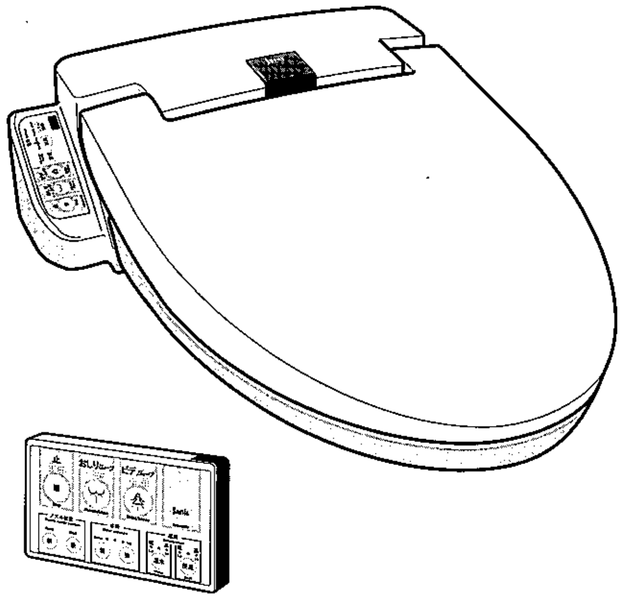
080301-01

取扱説明書（保証書付）

Janis
温水洗浄便座

SawaLet
サ ワ レ ッ ト

形 名
SCS-J200D（自動脱臭機能付き）
SCS-J200E



保証書付

保証書はこの取扱説明書の 36 ページについていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。
- このたびはジャニス温水洗浄便座をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

ご使用前に
安全上のご注意　2 ～ 4
お願い　5
各部のなまえ　6 ～ 8
付属品　8

取り付けかた
取り付け前の確認　9
取り付けかた　10 ～ 15
リモコンの準備と取り付けかた　16 ～ 17
連立トイレに取り付けるかたへ　18

使いかた
リモコンの使いかた　19 ～ 22
本体操作部の使いかた　23 ～ 25
節電のためのひと工夫　26

お手入れ・アフターサービス
お手入れのしかた　27 ～ 30
凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた　31 ～ 32
異常報知について　32
故障かなと思ったら　33 ～ 34
仕様　34
保証とアフターサービス　35
保証書　36

安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止：⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示：●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意：△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

⚠警告

気をつける
次のようなかたが使用されるときは、リモコンの便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける
お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱いかた・ご自分で温度調節のできないかた・眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた・深酒、疲労の激しいかたなど
低温やけどや事故の原因になります。

定格15A以上
電源は、交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

禁止
傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
分解・改造・修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理は工務店またはジャニス工業（株）お客様相談係にご連絡ください。

差し込む
電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、工務店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- 温水洗浄便座の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

32～34ページ「異常報知について」「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの工務店またはジャニス工業お客様相談係にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの工務店またはジャニス工業お客様相談係にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

長年ご使用の温水洗浄便座の点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。

- コンセントがガタついている。
- 水漏れがする。
- 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体に触ると、ビリビリ電気を感じる。
- ボタンを押しても動作しないときがある。
- 電源コード、プラグ、本体が異常に熱い。
- そのほか、異常・故障がある。

機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検はジャニス工業お客様ご相談係にご依頼ください。
（フリーダイヤル　0120-117-817）

▶ **ご使用中止**

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず工務店またはジャニス工業お客様相談係に点検、修理をご相談ください。

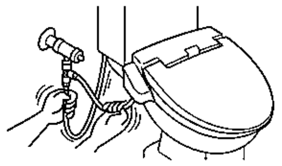
安全上のご注意（つづき）

⚠注意

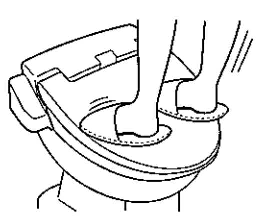
便座ふたに寄りかからない（禁止）
便座ふたが割れて転倒したり、けがの原因になります。

脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない（禁止）
指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。

本体給水ホース・タンク給水ホースを無理に引っ張ったり、力を加えない（禁止）
破損して、水もれの原因になります。



便座や便座ふたの上に乗ったり、強い衝撃を与えない（禁止）
変形・破損によりけがの原因になります。



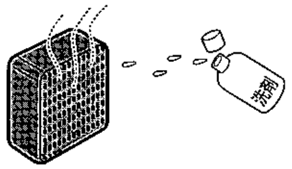
酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない（禁止）
プラスチック・金具を傷めます。

開口部から指や物を入れない（禁止）
感電・故障の原因になります。

ストレーナをはずすときは、止水栓を閉める また、ストレーナを取り付けるときは、すき間がないようにしっかり付ける（閉める）
水もれの原因になります。
（ストレーナのお手入れについては P28 を参照）

直射日光に当てない（禁止）
樹脂部が変色・劣化する原因になります。

脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない（禁止）
洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。
万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。



凍結のおそれのある地域では、暖房するなどして、周囲の温度が氷点下にならないようにする（暖房する）
凍結すると給水管などの配管が破損し、水もれの原因になります。凍結のおそれがあるときは、温水タンクおよび本体給水ホースの水を抜いてください。

故障かなと思ったら

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

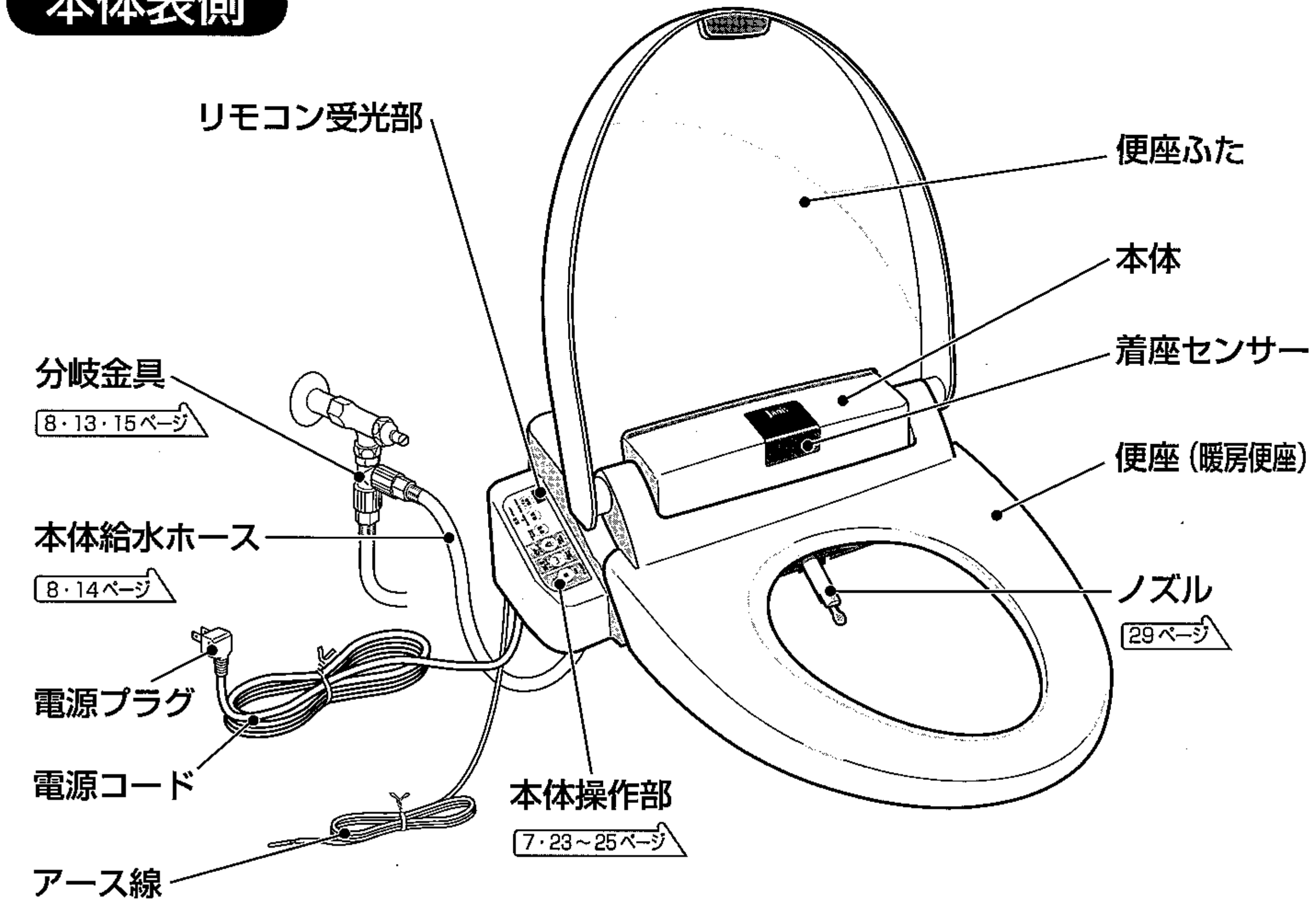
状態	原因	処置方法
動かない	●停電していませんか。 ●ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグが抜けていませんか。 ●リモコン受光部が衣類などでおおわれていませんか。	●停電の復帰を待ってください。 ●ブレーカーを「入」にしてください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●衣類などを離してください。
ノズルが出ない	●着座センサーが動作しづらい状態（着座センサー部を衣類がかくしているなど）になっていませんか。	●着座センサーから衣類を離してください。
洗浄水が出ない	●断水していませんか。 ●止水栓が閉まっていませんか。 ●本体給水ホースなどが凍結していませんか。 ●本体の温水タンクに水が入っていますか。（「電源ランプ」ランプが点滅していませんか）	●断水の復帰を待ってください。 ●止水栓を開けてください。 ●お湯に浸した布などで、本体給水ホースなど凍結部を温めてください。または室内を暖めて解凍してください。（熱湯や熱風による解凍はしないでください。ホースが破損する恐れがあります） ●「おしり」ボタンを押して、初期給水を行ってください。
水勢が弱い	●ストレーナにゴミが詰まっていませんか。 ●本体給水ホースが折れ曲がっていませんか。 ●ノズルが目詰まりしていませんか。 ●水勢が「弱」になっていませんか。	●ストレーナを掃除してください。 ●ホースの折れ曲がりをなくしてください。 ●ノズルを掃除してください。 ●水勢を「強」に調節してください。
洗浄水がぬるい、冷たい	●温水温度調節が「切」、「低」に設定されていませんか。 ●連続して洗浄していませんか。 ●節電モードを設定していませんか。（節電ランプが点灯していませんか） ●長時間着座していませんか。長時間着座してから洗浄操作すると、設定温度より低い湯が出ることがあります。	●設定温度を「中」、「高」に調節してください。 ●前の人の洗浄後、約5～7分(＊)待ってから使用してください。（温水タンク内の水を温めます） ●着座して約4～7分（＊）待ってから使用してください（温水タンク内の水を温めます） ●洗浄操作前に一度立ち上がって座り直してください。
暖房便座がぬるい、冷たい	●便座温度調節が「切」、「低」に設定されていませんか。 ●節電モードを設定していませんか。（節電ランプが点灯していませんか） ●便座ふたを開けた直後ではありませんか。	●設定温度を「中」、「高」に調節してください。 ●着座して約5分待ってください。（便座を暖めます） ●待機状態が解除され徐々に温まっているところです。
脱臭が動作しない（SCS-J200D のみ）	●脱臭を設定していますか。	●「脱臭」ボタンを押して、設定してください。

（つづく）

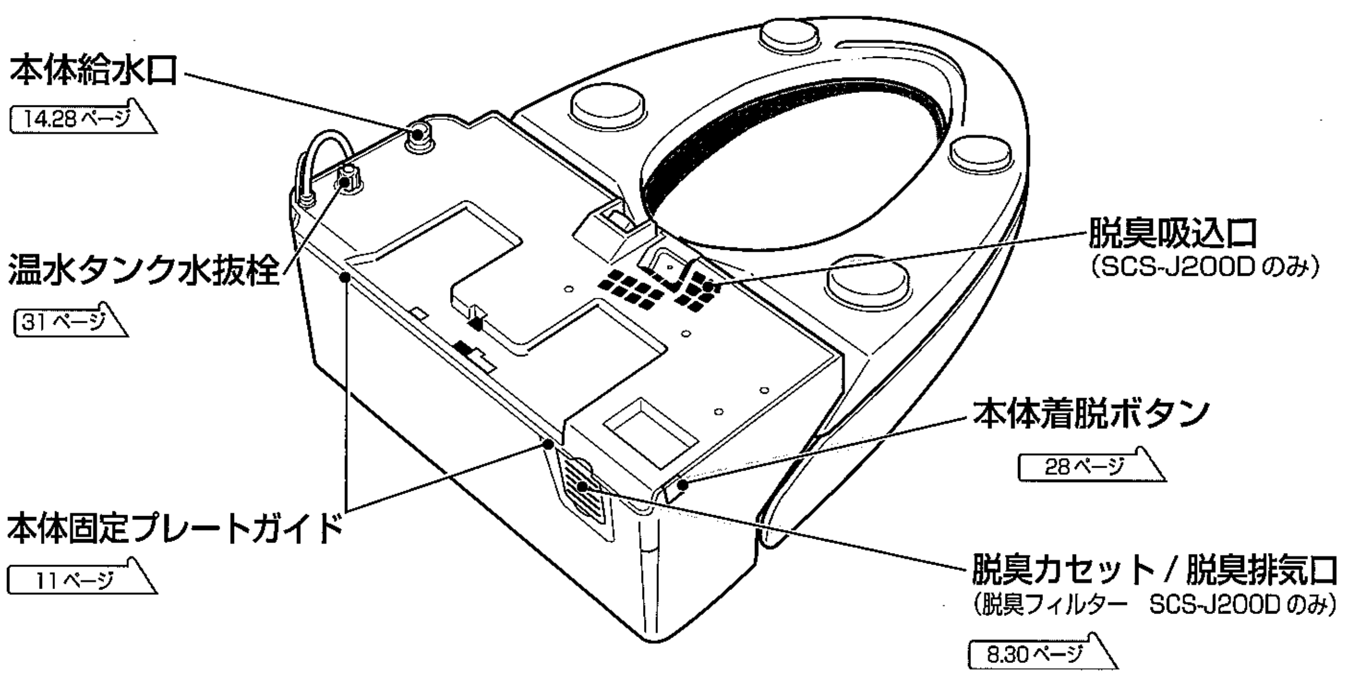
各部のなまえ

このマークの中の数字は、掲載ページを示しています。

本体表側



本体裏側



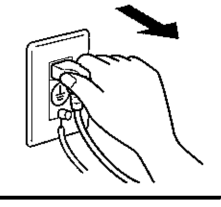
凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた

凍結のおそれがあるときは、配管部が破損する可能性がありますので水抜きをしてください。
長期間使わないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となりますので水抜きをしてください。

凍結予防および長期間使わないときの処置のしかた

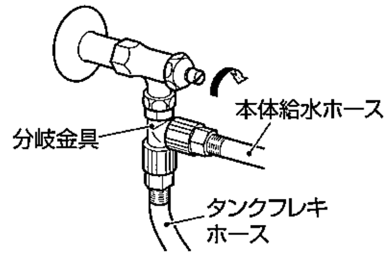
1 電源プラグを抜く

● コンセントから電源プラグを抜く。



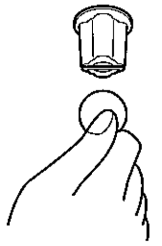
2 止水栓を閉める

● マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。



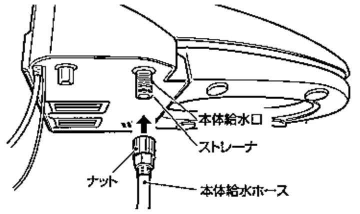
3 温水タンクの水を抜く

● 温水タンク水抜栓を回してはずし、温水タンクの水を抜く。
排水は、2L以上の広口容器で受ける。
※水抜栓が回らないときは、コイン状のもので回してください。



4 給水ホースとロータンクの水を抜く

1. 本体給水口に接続されている本体給水ホースをはずし、はずした本体給水ホースの先端部分を広口容器に入れる。
2. ロータンクのレバーを回し、ロータンク内の水を流し、空にする。
   ● ロータンクのレバーを回すと、給水ホース内の水も抜けますので、はずした本体給水ホースの先端部が広口容器に入っていることを確認してください。

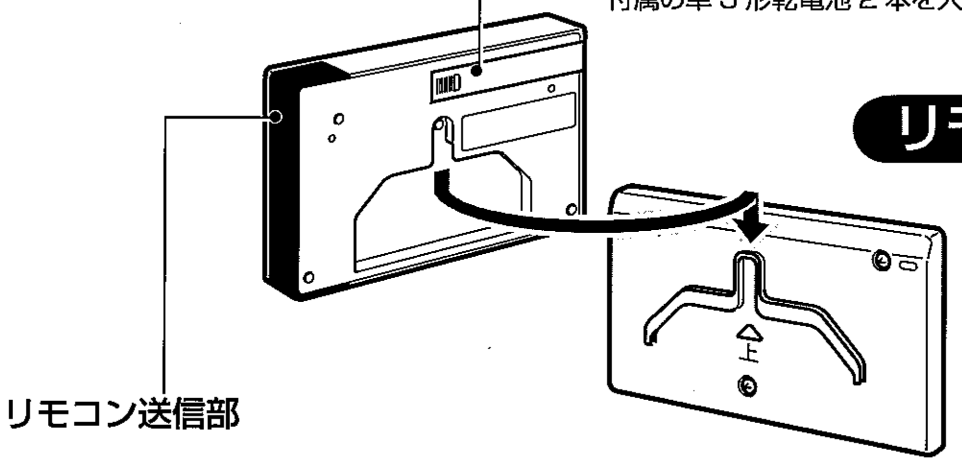


お願い

● 凍結予防中は、ロータンクおよび本体に給水されませんのでトイレは使えません。

（つづく）

リモコン背面

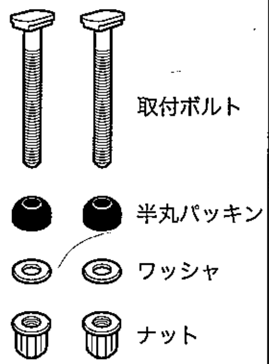


リモコンホルダー

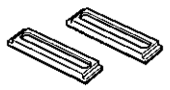
壁面に取り付け、リモコンをかけます。

付属品

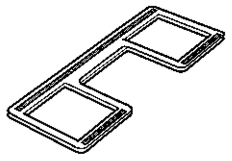
本体取り付け時に必要なもの



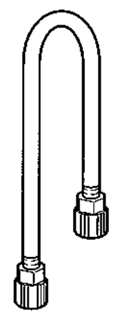
取付ボルトセット
１セット



取付プレート
２個



本体固定プレート
１枚

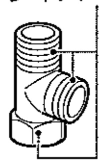


本体給水ホース
約１m
１本

脱臭フィルター
１個
（消耗部品）
※本体に装着済

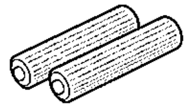
パッキン
１個

ネジのサイズ：G 1/2

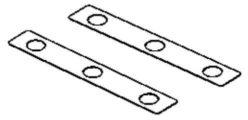


分岐金具
１個

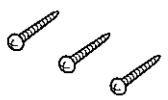
リモコン取り付け時に必要なもの



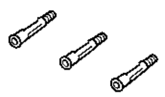
単３形乾電池
２本



両面テープ
２本



固定ねじ
３本



アンカープラグ
３本

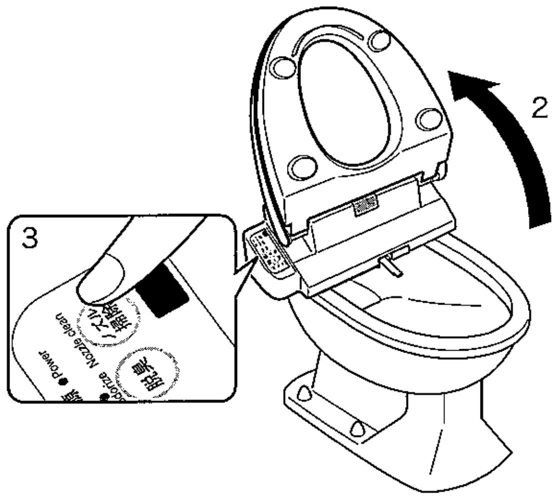
ノズル

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 便座ふた、便座を開ける

3 本体操作部の（ノズル掃除）ボタンを押す

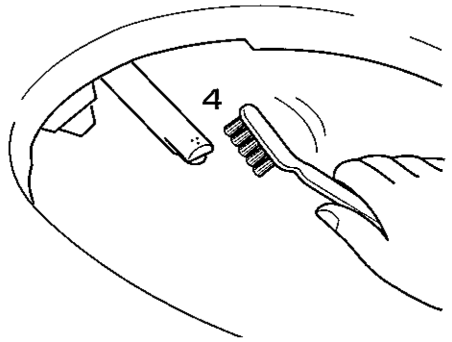
- ノズルが洗浄されながら伸縮し、約 6cm 出た状態で停止します。
- ノズルの根元部分まで掃除したい場合は、ノズルの先端部分を指で引っ張ってください。
ノズルは約 9cm まで伸ばせます。



お願い
- ノズルに無理な力を加えないでください。

4 柔らかいスポンジやブラシ、布などに水を含ませて、ノズルを軽くふく

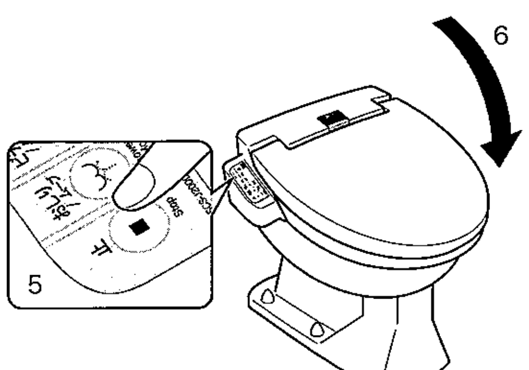
- ビデノズルは、指で軽く引っ張りながら掃除してください。



お願い
- ノズルの穴を傷つけないでください。
- ノズルに無理な力を加えないでください。

5 本体操作部またはリモコンの（止）ボタンを押す

お知らせ
- ノズルが本体に収納された後、カタ・カタと音のすることがありますが、異常ではありません。
- ノズル掃除の状態で２分経過するとノズルは自動的に戻ります。



6 便座、便座ふたを閉める

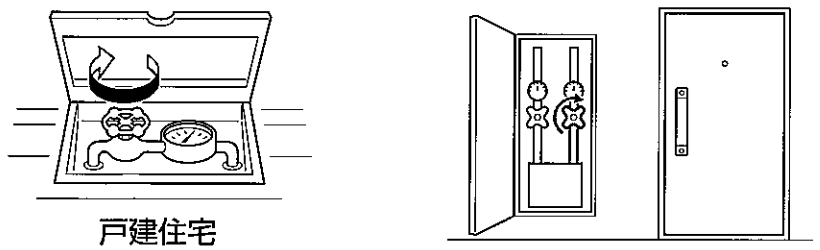
- 便座・便座ふたはゆっくりと閉めてください。

（つづく）

取り付けかた

1 水道の元栓を閉める

●水を使用中の器具がないことを確認し、水道の元栓を閉めます。



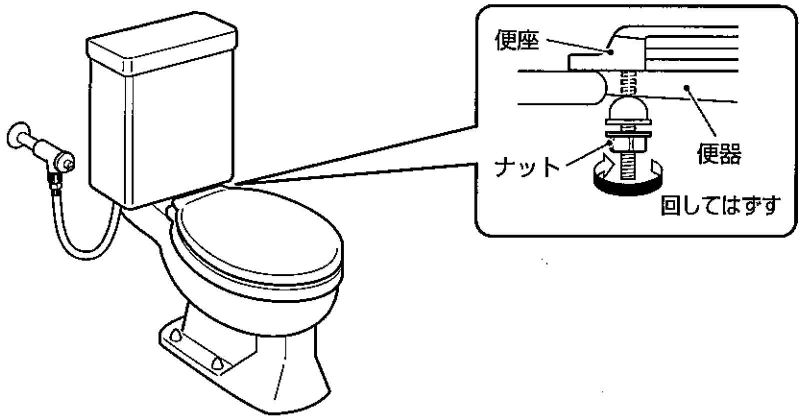
戸建住宅　　　集合住宅

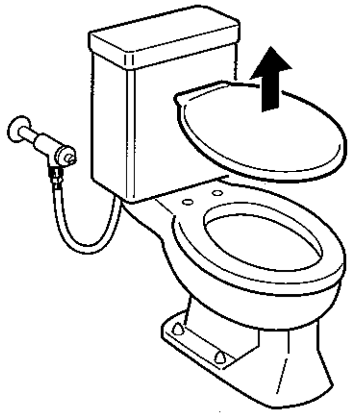
お願い

●元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が止まっていることを確認してください。

2 便座を取りはずす

●ナットをモンキーレンチなどでゆるめ、便座を取りはずします。





お願い

●取りはずした便座ふた、便座、取付ボルト・ナットなどは保管しておいてください。
引っ越しなどで必要になる場合があります。

お手入れのしかた

⚠警告

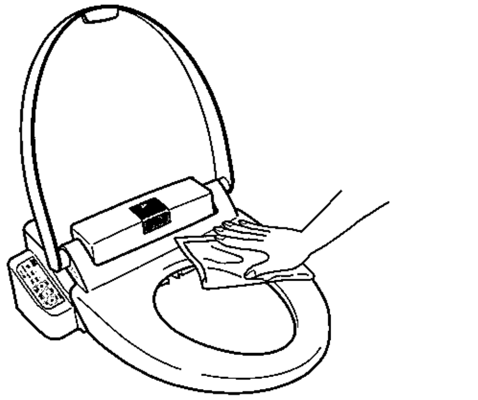
お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。
プラグを抜く

⚠注意

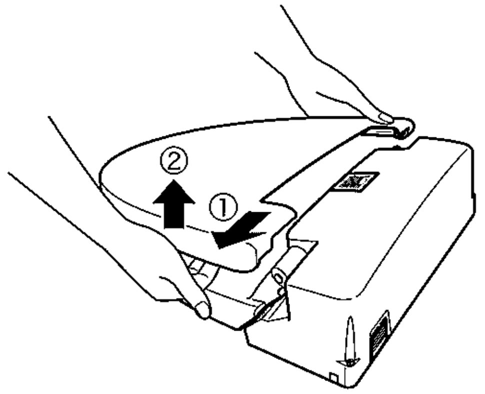
酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない
プラスチック・金具を傷めます。
禁止

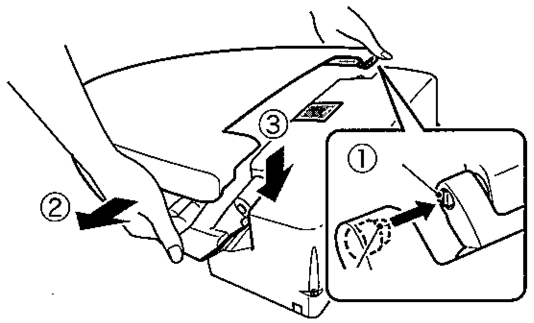
本体

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. 柔らかい布などに水を含ませ、固くしぼってからふく
3. 汚れがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ぶきする
洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用ください。
便座ふたは取りはずしてお手入れできます。
本体も取りはずしてお手入れできます。
4. お手入れが終わったら、電源プラグをコンセントに差し込む



便座ふたの取りはずし・取り付けかた





取りはずしかた

①便座ふたを閉じた状態で、右側を広げるようにして持ち上げて回転軸からはずす。
②便座ふたを左側に移動させながら本体からはずす。

取り付けかた

①便座ふたを閉じた状態で、便座本体左側の回転軸を、便座ふた側の回転軸穴に差し込む。
②便座ふたの右側を広げながら、便座本体の回転軸を便座ふた側の回転軸穴に差し込む。
③便座ふたを何回かゆっくりと開閉させて異常のないことを確認する。

お願い

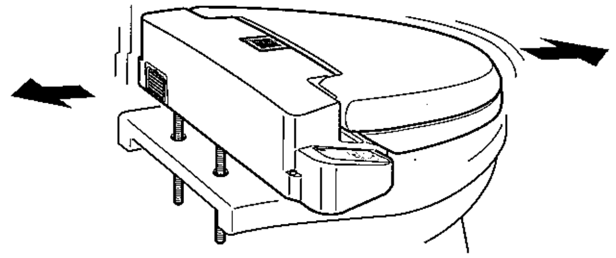
●便座、便座ふたを無理に閉めないでください。回転軸が破損して便座、便座ふたの開閉に支障をきたすことがあります。

（つづく）

取り付けかた（つづき）

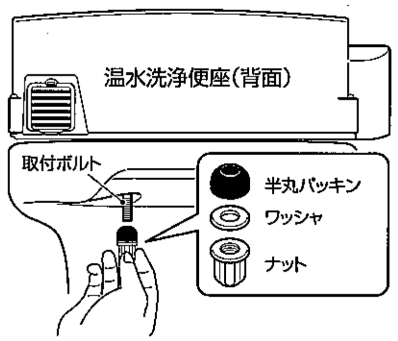
6. 本体を前後に調整しながら、便器の位置を決める。

●便器の先端に、便座の先端を合わせるようにします。
●本体背面とロータンクの間は 1cm 以上あけるようにします。



7. 半丸パッキン、ワッシャ、ナットを手に持ち、落とさないように取付ボルトに差し込む。

●パッキンの半丸側が便器側になっていることを確認してください。

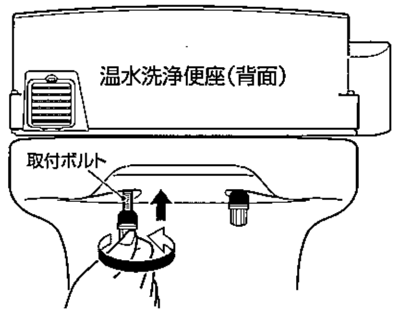


8. ナットを回して締め付ける。

●本体を便器に取り付けたとき、上下左右に多少のガタツキが発生しますが異常ではありません。本体の着脱方式によるものです。
※最後はモンキーレンチなどで締め付けてください。（強く締めすぎると破損することがあります。）

お願い

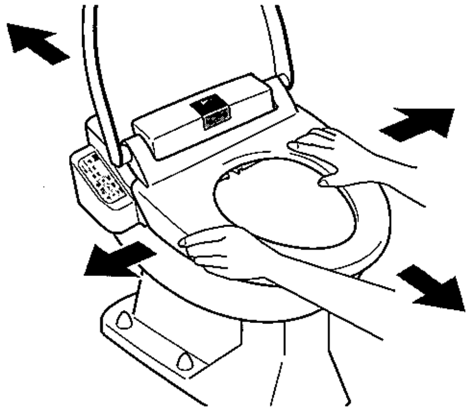
●長年お使いになると、取付ボルトの締め付けがゆるんでくる場合があります。
そのときは、ナットを締め付け直してください。

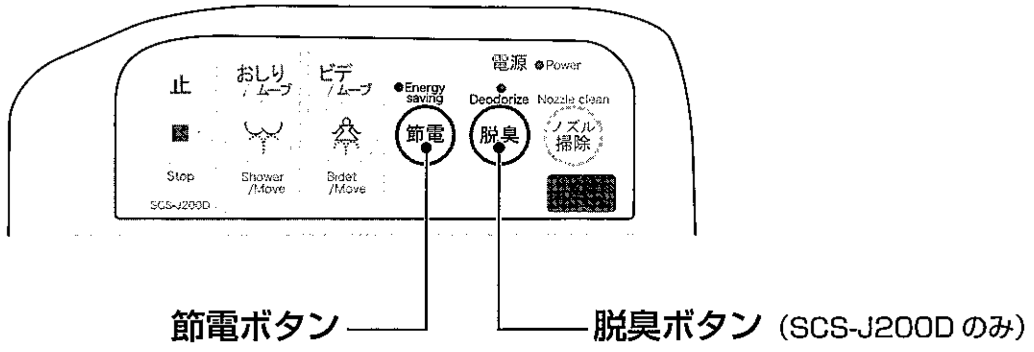


取り付けを確認する

以下の手順で便座の取り付けを確認してください。

便座を前後左右に動かし、はずれないことを確認する。





脱臭（SCS-J200D のみ）

(脱臭) ボタンを押す

●「脱臭」ランプが点灯し、脱臭が設定されます。
●ボタンを押すごとに設定／解除されます。
●着座して着座センサーが入ると、脱臭ファンが動作し脱臭を始めます。
●立ち上がって着座センサーが切れると、約 1 分後に自動停止します。
●脱臭中に脱臭ボタンを押すと、脱臭が停止し、「脱臭」ランプが消灯して設定が解除されます。

お知らせ

●脱臭を連続で使用した場合、約 15 分で自動停止します。
続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
脱臭機能は、便器内の脱臭を目的にしております。トイレ全体を脱臭することはできません。

節電

(節電) ボタンを押す

●ボタンを押すごとに、**節電設定（ランプ点灯）→節電解除（ランプ消灯）**に設定を変更できます。

●節電モード（節電ランプ点灯）

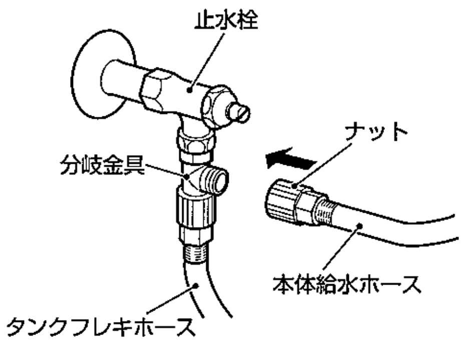
●設定温度（低、中、高）に関係なく、温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を節電設定の直後から 8 時間止めます。
●8 時間経過すると温水ヒーターと便座ヒーターへの通電は再開され、設定温度まで温度を上げます。
更に 16 時間経過すると再び温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を 8 時間止めるという動作を繰り返します。
●節電モードを解除しなければ、毎日ほぼ同じ時刻（節電を設定した時刻）から 8 時間ヒーターへの通電を停止して電力消費を抑制します。就寝前などに設定すると夜間あまり使用しない時間帯の電力の節約になり、便利です。
●ヒーターへの通電停止中（8 時間）、着座していないときは、「節電」「電源」ランプ以外のランプは消灯します。
●座る (着座センサーが検知する) と、通電停止中でも温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度を上げます。(設定温度になるまで、約 7 分かかります)
このとき、「節電」「電源」ランプ以外の設定表示ランプも点灯します。立ち上がると、座る前の状態に戻り、節電時間内であれば「節電」「電源」ランプ以外のランプは消灯します。

（つづく）

取り付けかた（つづき）

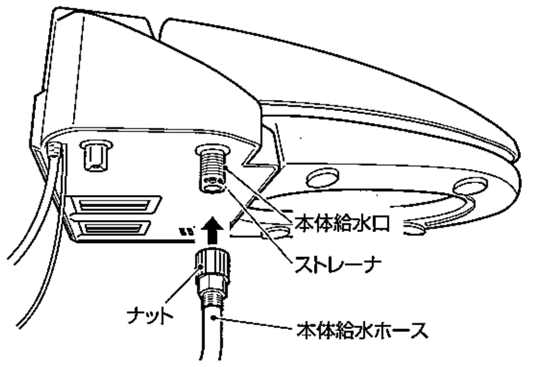
5 本体給水ホースを取り付ける

1. 止水栓側に本体給水ホースを取り付ける。



①止水栓に接続されている分岐金具へ本体給水ホースのナットを手で回して取り付ける。
②モンキーレンチでナットを締め付ける。
（据付トルク75kgf・cm）
※パッキンは本体給水ホースに内蔵されていますので別途入れる必要はありません。

2. 本体側に本体給水ホースを取り付ける。



①本体給水口の奥にストレーナが付いていることを確認して、本体給水ホースのナットを手で回して本体に取り付ける。
②モンキーレンチでナットを締め付ける。このとき本体給水ホースがねじれないように手で押さえる。
※パッキンは本体給水ホースに内蔵されていますので別途入れる必要はありません。

6 アース線を取り付ける

●まだ電源プラグは差し込まないでください。
（電源プラグは水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。）

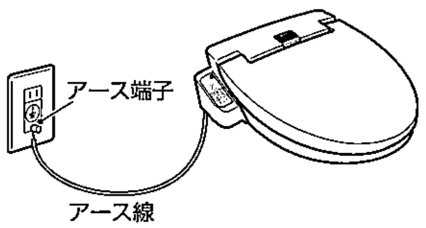
⚠警告

アース線を確実に取り付ける
アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。
次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。ガス管、電話線、避雷針、水栓など
アースの取り付け（D種接地工事）は、工務店または取付業者にご相談ください。

アースを接続する

■アース線を取り付けてください。
●アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
●設置場所の変更や転居のときには、アースの取り付けをしてください。

アース端子がある	アース端子がない
●アース線をアース端子に確実に接続してください。	●アース工事をしてください。 ●電気工事店または販売店にご相談ください。

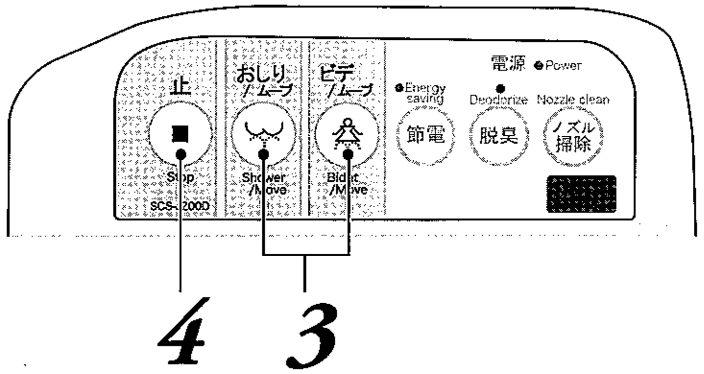


本体操作部の使いかた

⚠警告

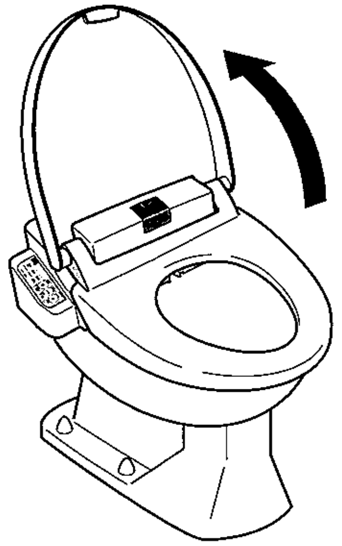
次のようなかたが使用されるときは、リモコンの便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける
お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱いかた・ご自分で温度調節のできないかた・眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた・深酒、疲労の激しいかたなど低温やけどや事故の原因になります。

気をつける



お知らせ
●脱臭と節電設定は便座ふたを閉じた状態でも操作できますが、洗浄操作は便座ふたを開け、便座に座らないと操作できないようになっています。（脱臭は SCS-J200D のみ）

1 便座ふたを開ける



2 便座に座る

着座センサーが入り、洗浄操作が可能になります。
●SCS-J200D の場合、脱臭が設定されていれば、脱臭が始まります。（脱臭ファン動作音発生）

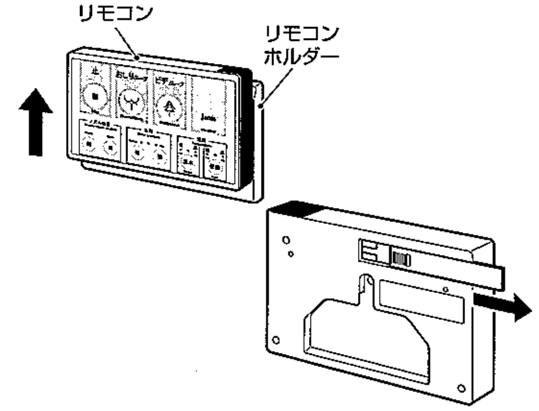
お願い
●着座センサーを衣類でおおうと、着座センサーが入らないことがあります。
●黒い衣類を着ていると、着座センサーが入らないことがあります。

（つづく）

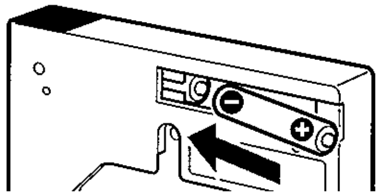
リモコンの準備と取り付けかた

1 電池を入れる

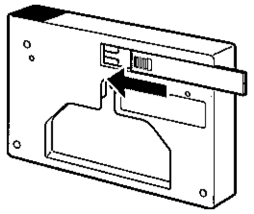
1.（リモコンホルダーからリモコンをはずし）裏面にある電池カバーを開ける。



2. 付属の単３形乾電池２本を極性を間違えないように入れる。

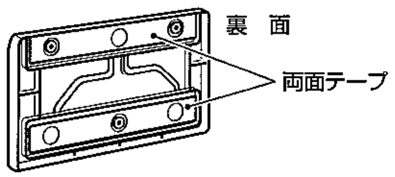


3. 電池カバーを閉じる。



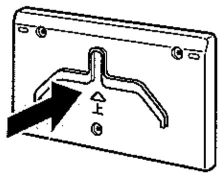
2 リモコンを壁面に取り付ける

1. リモコンホルダーの裏面に、付属の両面テープを赤色面が上にくるように貼り付ける。



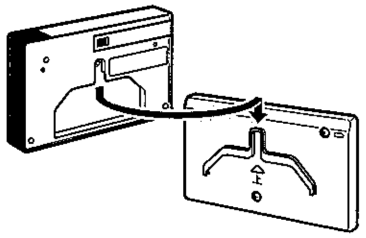
2. 壁面の汚れをふき取り、リモコンホルダーに貼った両面テープの赤色の上紙をはがしてリモコンホルダーを壁面に貼り付ける。

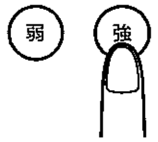
●リモコンホルダーは本体操作部と同じ側に取り付けると本体へ信号が届きやすくなります。

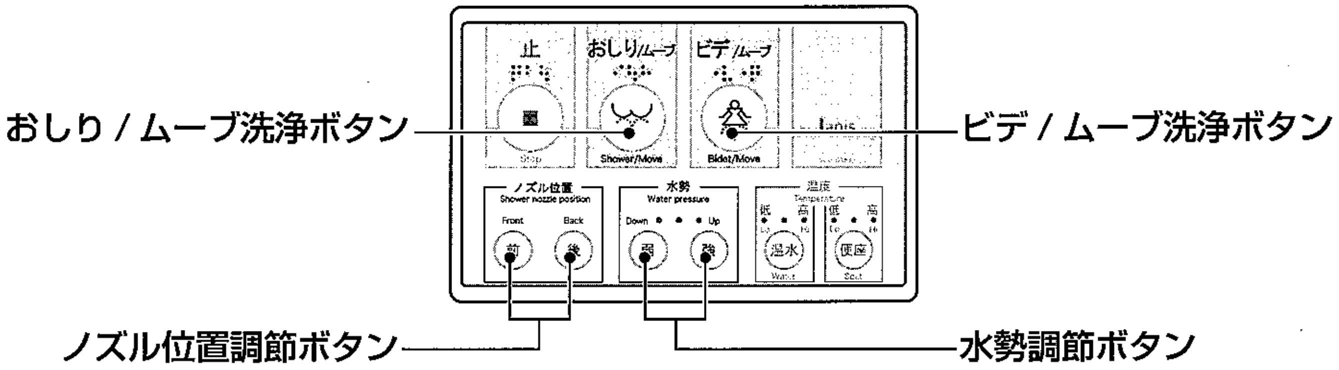


3. リモコンホルダーにリモコンをかけ、「水勢」ボタンを押し、リモコンからの信号を本体が受信した時に出るブザー音が、本体から出ていることを確認する。

●ブザー音がしないときは、ブザー音がする位置に、リモコンホルダーを貼り変えてください。



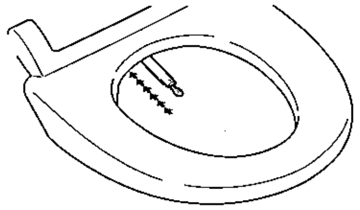




ノズル位置の調節

おしり洗浄またはビデ洗浄中に（前）（後）ボタンを押す

●７段階で調節できます。
●初期は中央の位置ですので、前後に３段階ずつ調節できます。



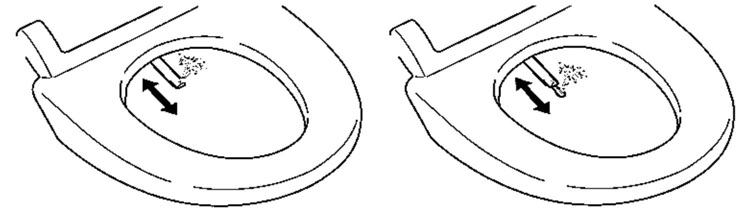
お知らせ

●ノズル位置の設定は本体に記憶されません。洗浄が終われば初期位置（中央の位置）にもどります。
次にご使用になるときに、再度調節が必要になります。
ムーブ洗浄中にはノズル位置調節ができません。

ムーブ洗浄

おしり洗浄またはビデ洗浄中に（おしり/ムーブ）または（ビデ/ムーブ）ボタンを押す

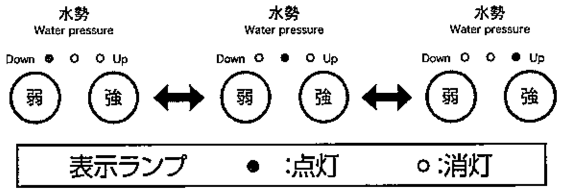
●ノズルが前後に伸縮し、広範囲をまんべんなく洗浄します。
●もう一度「おしり / ムーブ」ボタンか「ビデ / ムーブ」ボタンを押すと、ムーブ洗浄が終了し、通常の洗浄に戻ります。



水勢の調節

水勢（弱）（強）ボタンを押す

●３段階で調節できます。
●洗浄時以外でも調節できます。
●水勢の強さ設定は本体に記憶されます。直前に設定した強さで洗浄を行います。
●水道水圧が低いところでは、水勢の調節を「低」にすると洗浄水が出ないことがあります。
このようなときは、水圧の調節を「高」にしてください。



（つづく）

使いかた

連立トイレに取り付けるかたへ

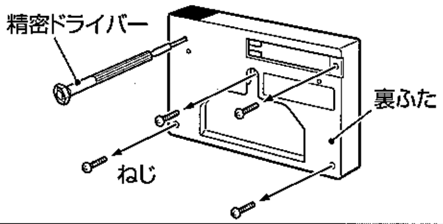
このページは、連立トイレ（隣接するトイレ）で使用する場合の説明です。したがってトイレが隣接していない場合はこのページの作業は必要ありませんので、とばしてお進みください。

リモコンの設定

リモコンは工場出荷時には、どれも同じ設定ですのでリモコンの設定を変えずに、隣接するトイレで本製品が２台以上使用された場合に、誤作動の原因となりますので必ず以下の手順に従ってモードを変える設定をしてください。工場出荷時に設定されているモードも含め８種類の設定が可能です。（必要な工具：精密ドライバー、ニッパー）

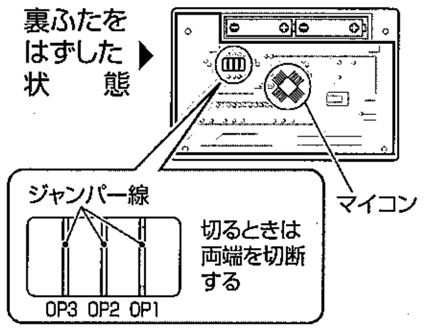
1 リモコンのねじ５本をはずし、裏ふたをはずす

●精密ドライバーを使用してねじをはずしてください。



2 回路基板のジャンパー線を切断してモードを変える

●ジャンパー線を切断するときは、ニッパーを使用し必ず線の両端を切断（他のジャンパー線との接触防止）し、切断カスが内部に落ちないようにリモコンを傾けて切断してください。また、回路基板上のマイコンに手が触れないようにリモコンの外周を持って切断してください。マイコンに手が触れるとマイコンが機能しなくなることがあります。



リモコン設定表　○：切断しない　×：切断する　＊：工場出荷時モード

OP3	OP2	OP1	設定モード
○	○	○	0＊
○	○	×	1
○	×	○	2
○	×	×	3
×	○	○	4
×	○	×	5
×	×	○	6
×	×	×	7

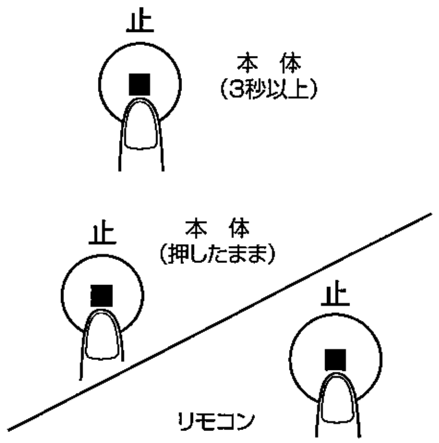
表の説明

●例えば３つ並んだトイレの場合、リモコン設定を０、１、２にします。０のリモコンは、設定を変える必要がありません。１のリモコンはOP1のジャンパー線を切断します。２のリモコンはOP2のジャンパー線を切断してください。（それ以上トイレ数がある場合も、リモコン設定表に合わせてジャンパー線を切断し設定してください）

3 カバーを閉め、ねじ５本で固定する

4 設定を変えたリモコンに合わせて本体の設定をする

1. 本体操作部の「止」ボタンを３秒以上押すと、ブザー音が１回鳴る。
2. 本体操作部「止」ボタンを押したまま、リモコンの「止」ボタンを押す。
3. ブザー音がピーピーピーと３回鳴り、設定が完了。
   ●本体とリモコンの「止」ボタンから手を離してください



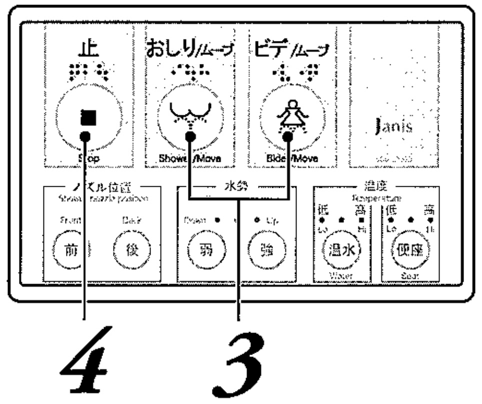
リモコンの使いかた

⚠警告

次のようなかたが使用されるときは、リモコンの便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける

気をつける

お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱いかた・ご自分で温度調節のできないかた・眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた・深酒、疲労の激しいかたなど低温やけどや事故の原因になります。

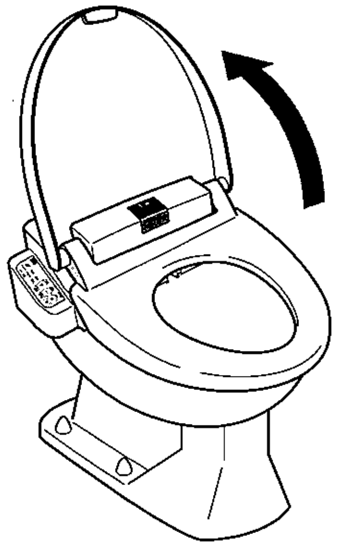


お知らせ

●リモコンのランプはボタン操作により点灯した後、本体動作中であっても約１０秒で消灯します。（電池消耗を防ぐため）

●水勢、温水温度、便座温度の調節は便座ふたを閉じた状態でも操作できますが、その他の操作は便座ふたを開け、便座に座らないと動作しないようになっています。

1 便座ふたを開ける



2 便座に座る

着座センサーが入り、洗浄操作が可能になります。

●SCS-J200Dの場合、脱臭が設定されていれば、脱臭が始まります。（脱臭ファン動作音発生）

お知らせ

●着座センサーを衣類でおおうと、着座センサーが入らないことがあります。

●黒い衣類を着ていると、着座センサーが入らないことがあります。

（つづく）

リモコンの使いかた（つづき）

3 おしり/ムーブ または ビデ/ムーブ ボタンを押す

- 自動でノズル洗浄をします。
- ノズル位置はお好みに合わせてノズル位置調整ボタンで調節できます。
- 連続して約２分ご使用になりますと、洗浄が止まります。
  続けてご使用になる場合は、同じボタンを押してください。
  洗浄水の温度が下がっている場合は、しばらく待って
  洗浄水があたたまってからご使用になることをおすすめします。

お願い
- 本体やリモコンのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。

4 止 ボタンを押し、洗浄を停止する

- 約７秒間、ノズル洗浄をします。ノズルが、ノズル出口付近で伸縮を３回繰り返します。

お願い
- 洗浄は２分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。さらにご使用になる時は再度ボタンを押してください。
- 洗浄停止後に続けて「おしり／ムーブ」または「ビデ／ムーブ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合があります。

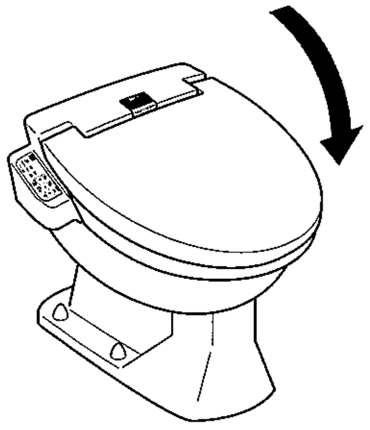
5 立ち上がる

- 着座センサーが切れ、洗浄操作ができなくなります。SCS-J200Dでは、脱臭は約１分後に自動停止します。

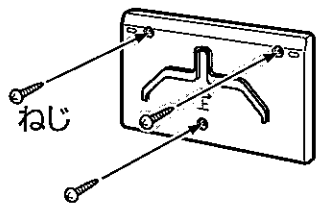
お願い
- 洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。（約２分後に止まります）
- ノズル付近から水が少量出ることがありますが、これは温水タンク内の水があたためられて膨張して出てくるもので、異常ではありません。
- 連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、工務店またはジャニス工業（株）お客様ご相談係にご連絡ください。

6 便座ふたを閉じる

- 便座ふた・便座はゆっくりと閉まる機構になっています。
  破損の原因になるため、便座ふた・便座は無理な力を加えないでください。



4. リモコンホルダーを付属のねじ３本で固定する。
- 壁面が石膏ボード、タイル、コンクリートなどの壁の場合は「石膏ボードやタイル、コンクリート壁への取り付け」をご覧になり取り付けてください。



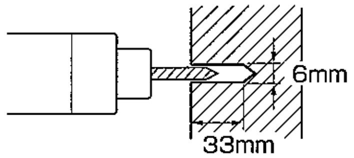
石膏ボード、タイル、コンクリート壁への取り付け

壁が石膏ボードやタイル、コンクリート壁の場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンホルダーを取り付けてください。

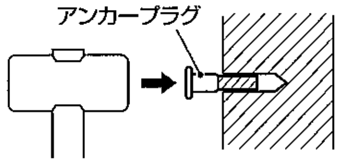
①壁に貼り付けた、リモコンホルダーのねじ穴（３箇所）に先のとがったドライバーやきりなどで壁にしるしを付けてからリモコンホルダーを壁からはずす。

②リモコンホルダーのねじ位置に合わせ、ドリルで壁に直径6mmの下穴を開ける。

- 壁タイル、コンクリート壁の場合、直径6mm、深さ33mmの下穴を開けてください。

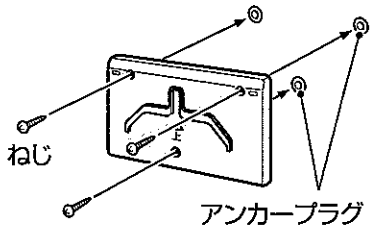


③ハンマーなどを使い、アンカープラグを下穴に打ち込む。



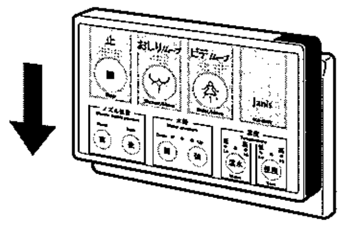
④リモコンホルダーをねじ３本で取り付ける。

お願い
- 石膏ボードに取り付けるときに、はじめはねじの締め付けがかたく、いったんゆるくなって再びややかたくなります。ややかたくなるまでしっかりと締め付けてください。

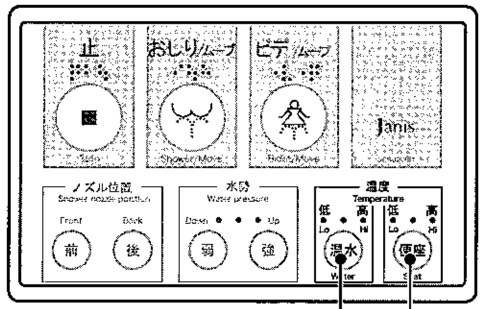


3 リモコンをリモコンホルダーにかける

- リモコンがリモコンホルダーに確実に固定されることを確認してください。



リモコンの使いかた (つづき)



温水温度調節ボタン

便座温度調節ボタン

温水温度の調節

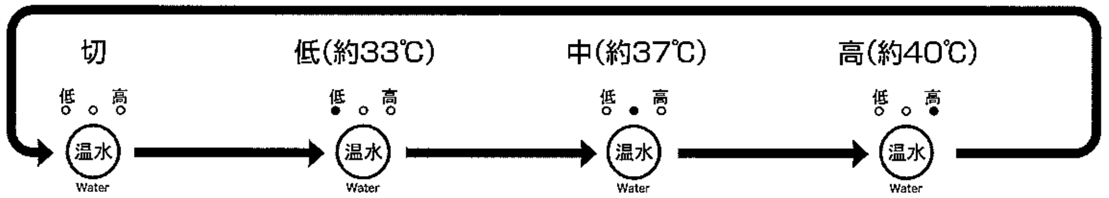
(温水)ボタンを押す

- 3 段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。

お知らせ

- 水道水の温度や周囲温度によって、温水温度は変化します。
- 続けて使用すると温水温度は下がってきます。

表示ランプ ◉ :点灯 ○:消灯



便座温度の調節

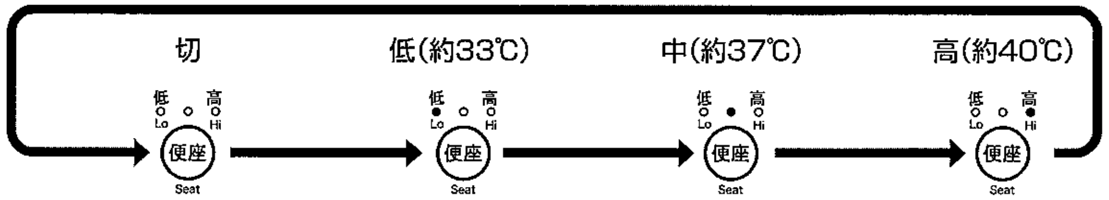
(便座)ボタンを押す

- 3 段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。

お知らせ

- 周囲温度によって、便座温度は変化します。
  お使いにならないときに便座ふたを閉めておくと、温度低下を少なくでき、また電気代の節約にもなります。

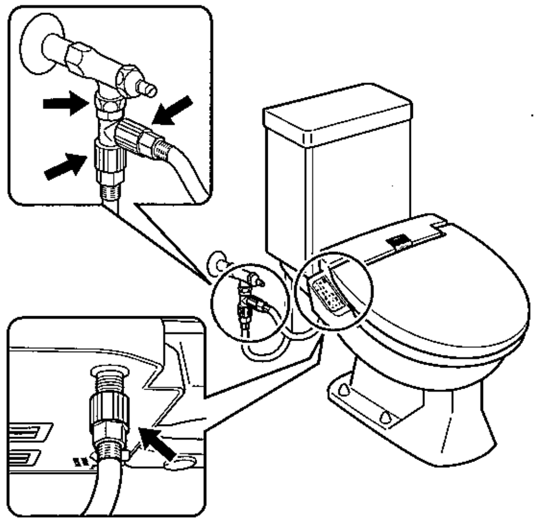
表示ランプ ● :点灯 ○:消灯



7 配管接続部などに水もれがないか点検する

1. 付属のパッキンにあまりがないか確認する。
   - あまりがあるときは、パッキンを付けてない接続部をはずし、パッキンを取り付けてください。
2. 給水する前に、各接続部のゆるみがないか確認する。
   - ゆるみがあるときは、モンキーレンチなどでしっかり締めてください。
3. 水道の元栓を開く。
4. 止水栓を開いて、配管接続部に水もれがないか確認する。

➡: 水もれ点検箇所



水もれがあった場合

1. 水道の元栓と止水栓を閉める。
2. 水もれのあった接続部をはずし、再度取り付ける。

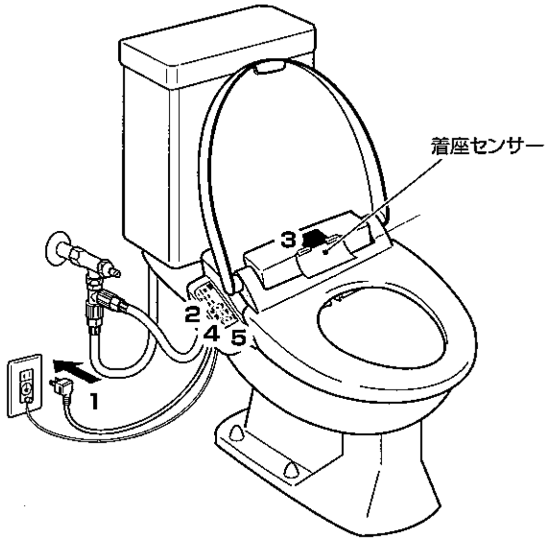
お願い

- どうしても水もれが直らないときは、水道の元栓を閉めた後、水道工事店にご連絡ください。

動作の確認

以下の手順で動作を確認してください。

1. **コンセントに電源プラグを根元まで差し込む。**
   - ノズルが 1 回伸縮し、その間操作パネルの全ランプが点滅し続けます。(初期動作)
   - 初期動作後、操作パネルの「電源」ランプが点滅します。(SCS-J200D の場合は「脱臭」ランプが点灯します)
     本体温水タンクが満水であれば、「電源」ランプは点滅しません。
     そのときは、2 をとばして 3 にお進みください。
2. **操作パネルの「おしり」ボタンを押す。**
   - 本体温水タンクに給水され、満水になると「電源」ランプが点滅から点灯に変わります。
   - 給水後、洗浄水が温水になるのを待ちます。(約 5 分)
   - 便座もあたたまるのを確認します。
3. **着座センサーを白紙や手でおおう。**
   - 着座センサーが着座を検知します。
   - 便座ふたを開いていないと着座センサーは動作しません。
     [SCS-J200D の場合は脱臭を開始します。
     (脱臭ファン動作音発生)]
4. **「おしり」ボタンを押す。**
   - 自動でノズル洗浄をします。
   - ノズルが伸びて、ノズルから洗浄シャワー (温水) が出るのを確認してください。
     ビニールシートなどをあてて、周りへの水の飛び散りを防いでください。
5. **洗浄水 (温水) が出るのを確認したら、「止」ボタンを押す。**
   - 洗浄が終了し、ノズルが戻ります。



取り付けかた

本体操作部の使いかた（つづき）

3 おしりムーブ または ビデムーブ ボタンを押す

●自動でノズル洗浄をします。
●ノズル位置はノズル位置調整ボタンで７段階に調節できます。
連続して約２分ご使用になりますと、洗浄が止まります。
続けてご使用になる場合は、同じボタンを押してください。
洗浄水の温度が下がっている場合は、しばらく待って
洗浄水があたたまってからご使用になることをおすすめします。

お願い
●本体やリモコンのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。

4 止 ボタンを押し、洗浄を停止する

●約７秒間、ノズル洗浄をします。ノズルが、ノズル出口付近で伸縮を３回繰り返します。

お願い
●洗浄は２分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。さらにご使用になる時は再度ボタンを押してください。
●洗浄停止後に続けて「おしり／ムーブ」または「ビデ／ムーブ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合があります。

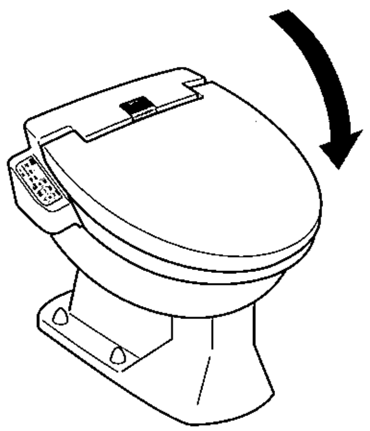
5 立ち上がる

●着座センサーが切れ、洗浄操作ができなくなります。SCS-J200D では、脱臭が設定されていれば、約１分後に自動停止します。

お願い
●洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。（約２分後に止まります）
●ノズル付近から水が少量出ることがありますが、これは温水タンク内の水があたためられて膨張して出てくるもので、異常ではありません。
●連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、工務店またはジャニス工業（株）お客様相談係にご連絡ください。

6 便座ふたを閉じる

●便座ふた・便座はゆっくりと閉まる機構になっています。
破損の原因になるため、便座ふた・便座は無理な力を加えないでください。

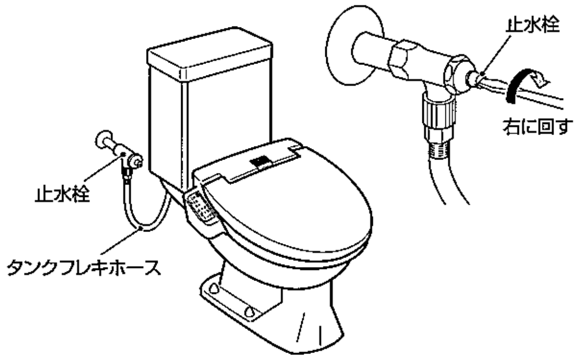


4 分岐金具を取り付ける

タンクフレキホースを取りはずして、分岐金具を取り付けます。

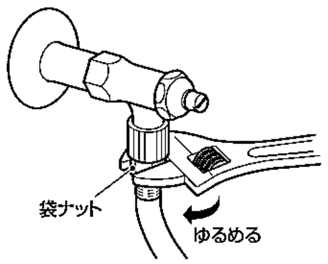
1. 止水栓を閉める。

●便器の止水栓をマイナスドライバーでいっぱいに閉め、給水を止めます。
※止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



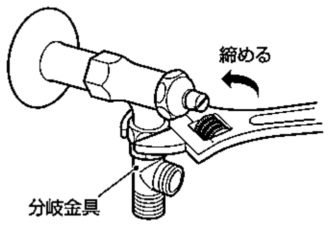
2. タンクフレキホースをはずす。

●タンクフレキホースの袋ナットをゆるめて止水栓より取りはずす。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。
●タンクフレキホースの袋ナット内部にはストレーナが付いています。
●本製品の取り付けに必要ですので、なくさないようにしてください。



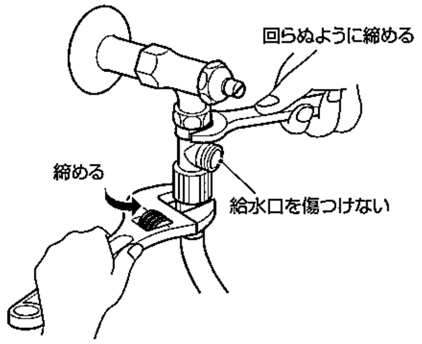
3. 分岐金具を取り付ける。

①付属のパッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付ける。
②分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めする。
（据付トルク 75kgf・cm）
●止水栓に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



4. タンクフレキホースを取り付ける。

①ストレーナを入れてタンクフレキホースを分岐金具に取り付ける。
②タンクフレキホースの袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めする。
（据付トルク 100～150kgf・cm）
③分岐金具の六角部にスパナ（21mm）またはモンキーレンチを当てて、分岐金具を固定しながらタンクフレキホースの袋ナットを締め付ける。
●止水栓に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



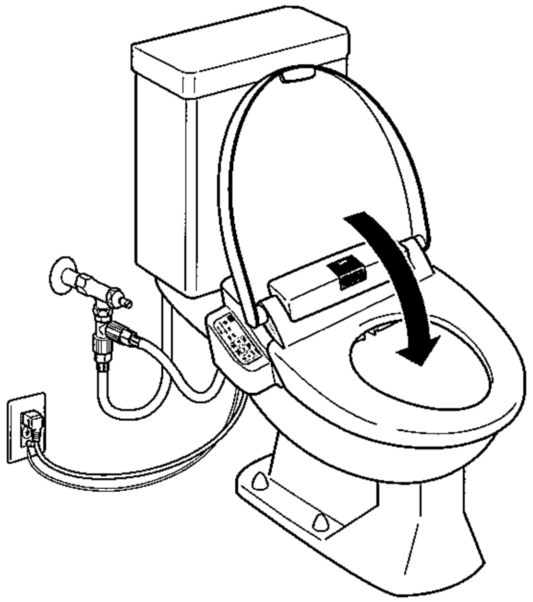
（つづく）

節電のためのひと工夫

節電のために次のことをお願いします。

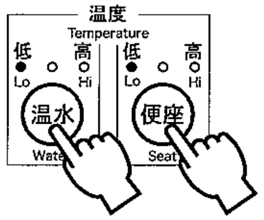
● 便座ふたは閉じておきましょう。

使用後に便座ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができ、節電になります。



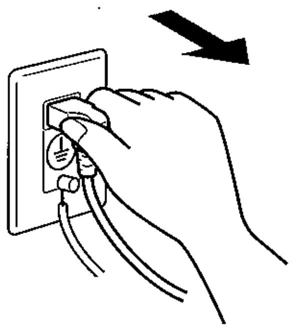
● 設定温度を低めにしましょう。

季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。



● こまめに電源を切っておきましょう。

外出時など長時間使用しないときは、電源プラグを抜いておくと、節電になります。
ただし、温水タンクの中の水が凍結する可能性がある場合は、電源プラグを抜かないでください。

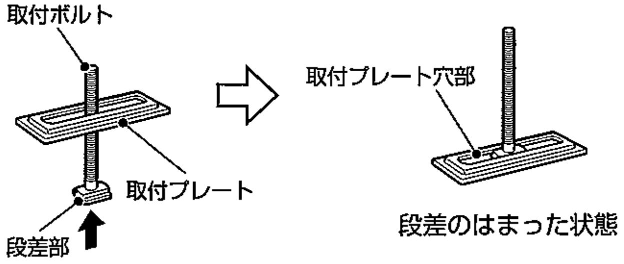


3 温水洗浄便座を取り付ける

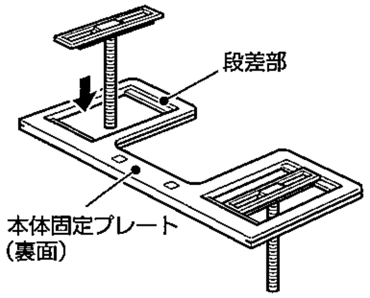
1. 便座を裏返しておく。

2. 取付プレートの穴部に取付ボルトを通す。

- ●取付ボルトにはまっている、半丸パッキン、ワッシャ、ナットをはずして、取付ボルトを取付プレートに通します。
- ●取付ボルトの頭の段差部を取付プレートの穴部にはめ込みます。

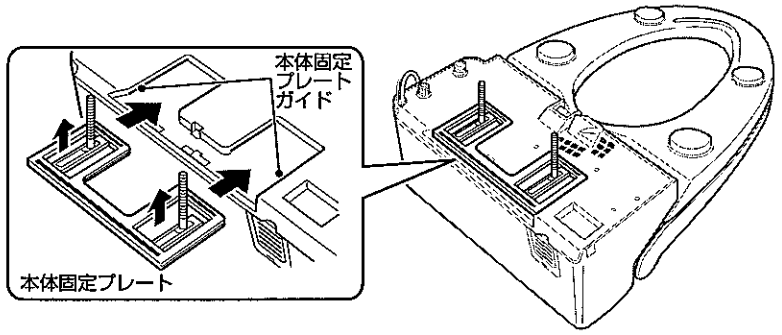


3. 本体固定プレートの裏面（ゴム板の付いてない面）を上に向け、取付プレートを本体固定プレートの段差部に入れる。

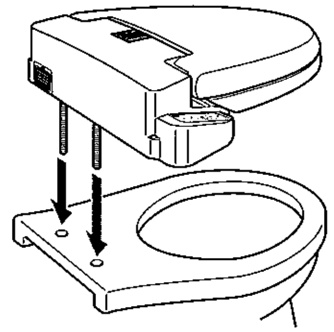


4. 取付プレートと取付ボルトが、はずれないように本体固定プレートを押さえながら上下反転させ、本体固定プレートガイドにカチッと音がするまで差し込んで取り付ける。

- ●本体固定プレートガイドの表面（ゴム板が付いている面）を上にして入れてください。



5. 便座の上下を戻して、取付ボルトを便器の取付穴に差し込む。



（つづく）

取り付けかた

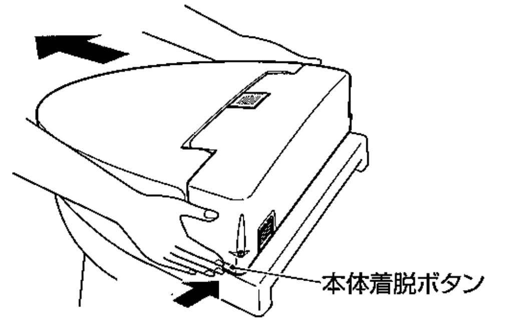
お手入れのしかた（つづき）

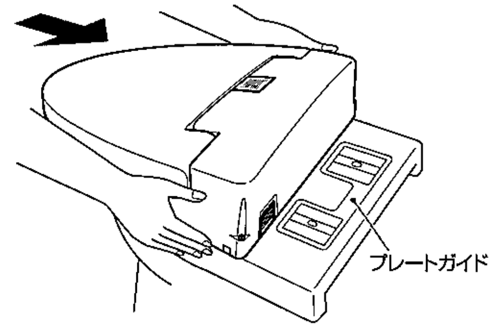
⚠注意

ストレーナをはずすときは、止水栓を閉める また、ストレーナを取り付けるときは、すき間がないようにしっかり閉める

閉める　漏水の原因になります。

本体の取りはずし・取り付けかた





取りはずしかた

本体の両側部を持ち、本体右奥にある本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出す。

取り付けかた

本体中央部と取付プレートガイドの中央を合わせ、カチッと音がするまで奥へ押し込む。

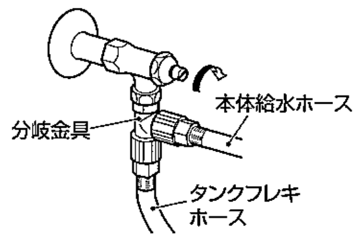
お願い

- 便座、便座ふたを持って本体を持ち上げないでください。本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

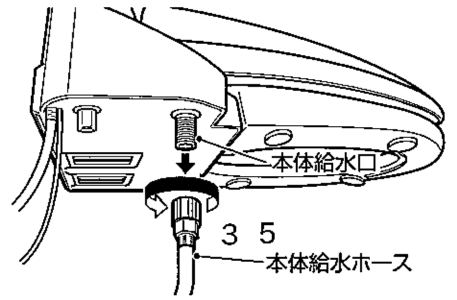
ストレーナ

1. 電源プラグをコンセントから抜く

2. マイナスドライバーなどで止水栓を閉める



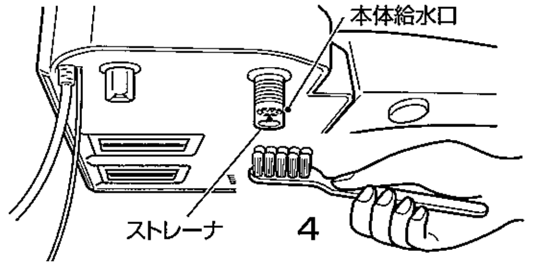
3. 本体から本体給水ホースを取りはずす
- 給水ホース内の残水により床をぬらさないように気をつけて、モンキーレンチなどでナットをゆるめてください。



4. 歯ブラシなどでストレーナ内部の掃除をする
- ストレーナは本体給水口に内蔵されています。

5. 本体に本体給水ホースを取り付け、止水栓を開ける
- 水漏れしていないか確認してください。

6. 電源プラグをコンセントに差し込む



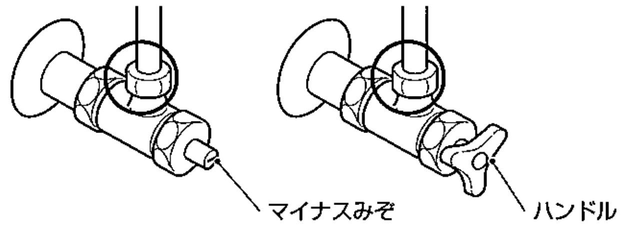
取り付け前の確認

止水栓の確認

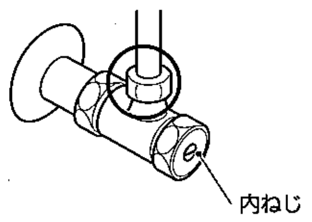
トイレの止水栓を確認してください。付属品以外に別売部品が必要な場合があります。ご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

○部の分岐金具取付部のネジサイズがG1/2であれば、付属品の分岐金具のみで取り付けが可能です。

■一般の止水栓



■内ねじ止水栓



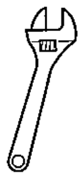
アース端子の確認

- アース端子があることを確認してください。
- アース端子がないときは、電気工事店または販売店にご相談ください。

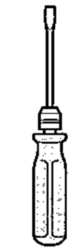
取り付け作業に必要なもの

配管時に必要なもの

- モンキーレンチ
- マイナスドライバー



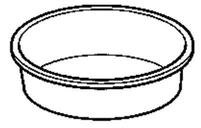
モンキーレンチ



マイナスドライバー

給水管を取りはずすときの残水処理に必要なもの

- 広口容器
- ぞうきん



広口容器

ぞうきん

お手入れのしかた (つづき)

⚠注意

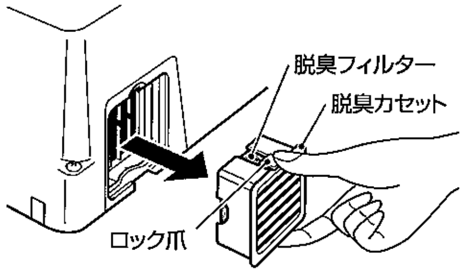
脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない（禁止）
指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。

脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない（禁止）
洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。
万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

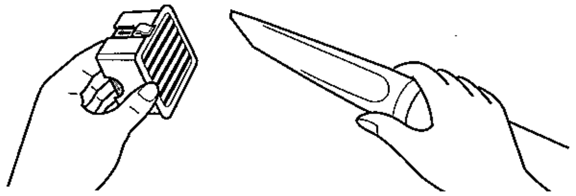
お願い
- 脱臭フィルターの水洗いはしないでください。性能が低下したり、形がくずれることがあります。

脱臭フィルター (SCS-J200D のみ)

1 **脱臭カセットのロック爪を押し下げながらはずし、脱臭カセットを引き出す**
- 無理に引っ張るとロック爪が破損する原因になります。



2 **脱臭フィルターのほこりを、掃除機などで取り除く**
- 脱臭フィルターの格子部分が触れると黒くよごれることがあります。
身体や衣類によごれが付いた場合は水洗いしてよごれを落としてください。

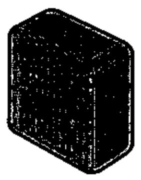


3 **脱臭カセットをもと通りに差し込む**
- ロック爪は確実にセットしてください。

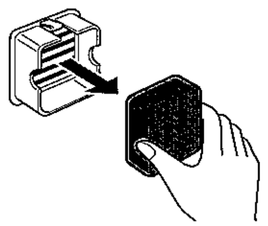
■脱臭フィルターのお取り替え

脱臭フィルターの寿命は約５年です。お手入れしても、においが気になる場合はお取り替えください。
脱臭フィルターのご購入は、工務店またはジャニス工業（株）お客様相談係にご連絡ください。

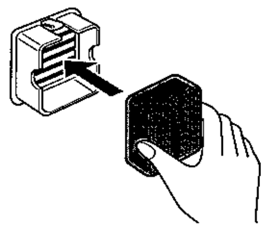
■脱臭フィルター
（部品コード：02030115）



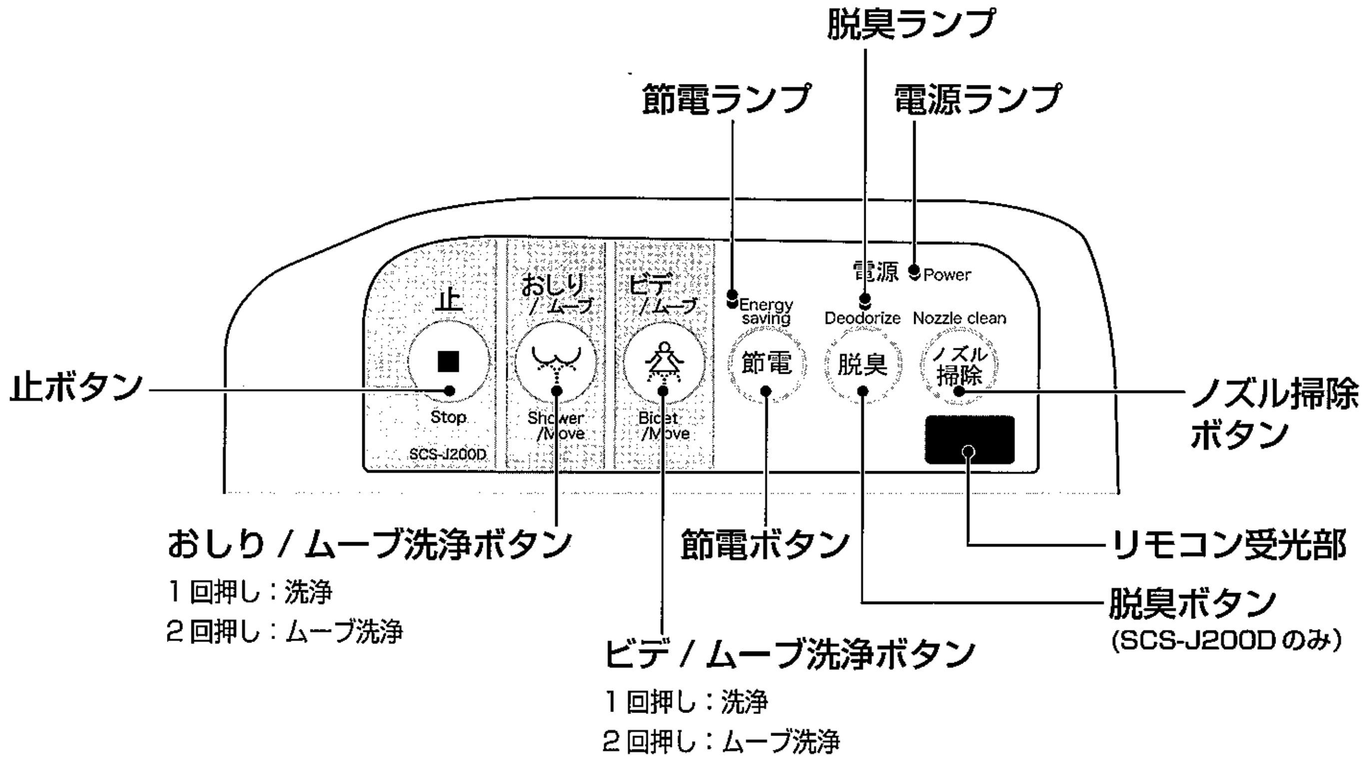
1.寿命になった脱臭フィルターを引き抜く



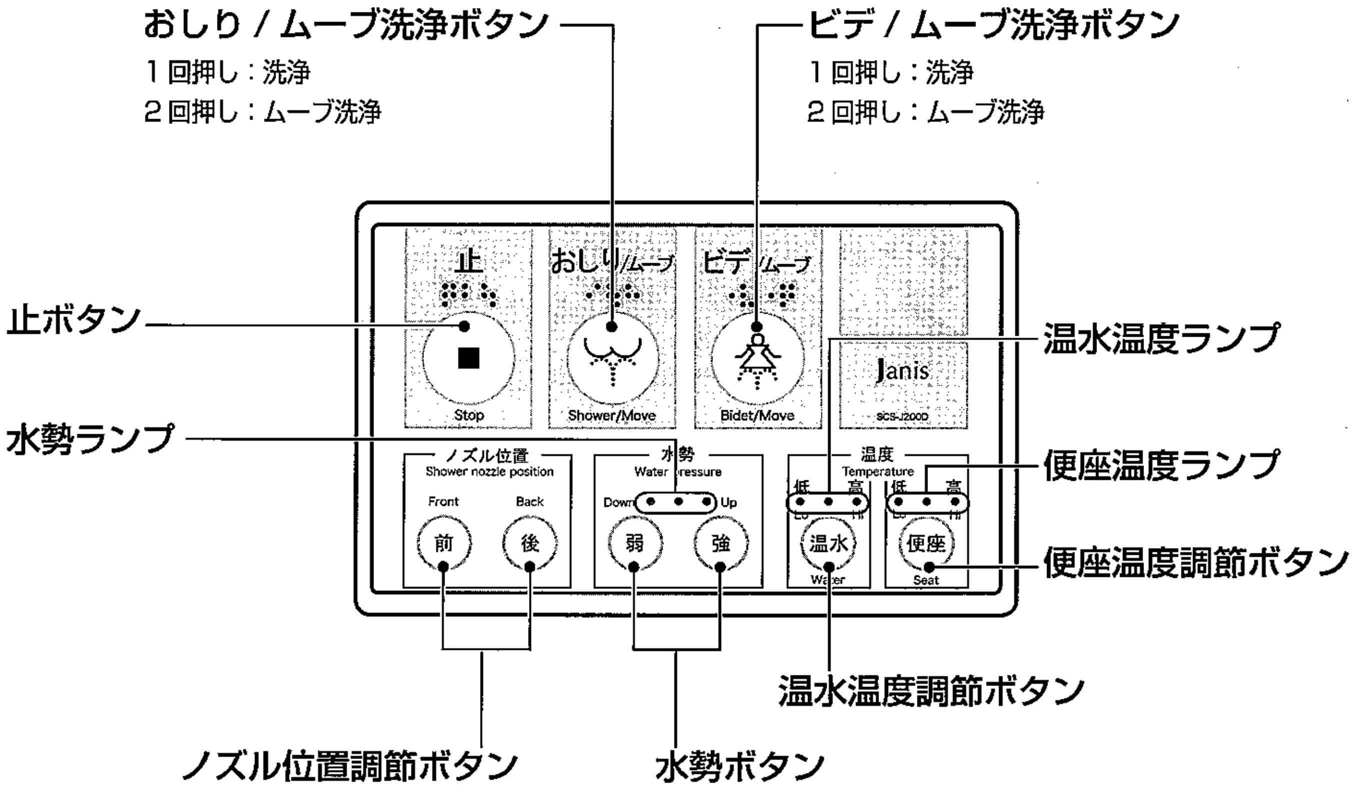
2.新しい脱臭フィルターをカセットに差し込む



本体操作部



リモコン操作部



（つづく）

凍結予防を解除する・使用を再開する

1 温水タンク水抜栓を元通りに取り付ける

2 本体給水ホースを元通りに取り付ける

3 止水栓を開ける

4 電源プラグを差し込む

●「おしり」ボタンを押して、タンクに給水する。

異常報知について

本体に異常が発生すると表示ランプが点滅してお知らせします。

表示内容	考えられる原因と処置のしかた	
電源 ●Power -○-Energy saving　○Deodorize　Nozzle clean 節電　脱臭　ノズル掃除	● 温水温度異常 ● 温水温度センサーの故障による温水温度制御不能 (SCS-J200Eには脱臭ボタンとランプはありません)	ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。
電源 -●-Power ○Energy saving　○Deodorize　Nozzle clean 節電　脱臭　ノズル掃除	● 便座温度異常 ● 便座温度センサーの故障による便座温度制御不能 (SCS-J200Eには脱臭ボタンとランプはありません)	
電源 -○-Power -○-Energy saving　-○-Deodorize　Nozzle clean 節電　脱臭　ノズル掃除	● タンク内の水量低下・不足（漏水など） ● 水位センサーの故障などによる水位制御不能 (SCS-J200Eには脱臭ボタンとランプはありません 異常の場合は節電ランプと電源ランプのみが点滅します)	

表示ランプ　●:点灯　-○-:点滅　○:消灯

お願い

給水管の取りはずし、タンク給水ホースの取り付けのときに、ボールタップ接続ねじ部を回すとロータンクに水が入らなくなる場合があります。
ボールタップ接続ねじ部を回さないでください。

寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事は、専門的な工事が必要になります。
専門業者へご依頼ください。
使用しない給水管は保管しておいてください。

便座・便座ふたの開閉は乱暴に行わないでください。
割れたり、故障することがあります。

洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。
約2分後に止まります

本体の汚れは水を含ませた布でふきとってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を適量に薄め、布に含ませてふき洗いし、そのあと水ぶきして洗剤をふきとってください。
また、消毒などには、逆性石ケンを適量に薄め、布に含ませてふき洗いし、そのあと水ぶきして液をふきとってください。

長期間使用しないときは、万一の漏水や水の腐敗を防ぐため、止水栓を閉めて温水タンクの水抜きを行ってください。

不要となった脱臭フィルターは、回収を行っている市町村の指示にしたがって廃棄してください。

リモコンは、リモコン受光部に向けて信号の届く位置に設置してください。
壁の色や材質により、リモコンからの信号がリモコン受光部に届きにくい場合があります。

リモコンとリモコン受光部との間に、カーテンなど信号をさえぎるものがあると動作しないことがあります。

脱臭を連続で使用した場合、約15分で自動停止します。(SCS-J200Dの場合)
続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
脱臭機能は、便器内の脱臭を目的にしております。トイレ全体を脱臭することはできません。

水道圧が低いところでは、水勢調節を弱くすると、ノズルから洗浄水が出ないことがあります。
このような場合は、水勢の調節を「高」にしてください。

操作パネルのボタンを必要以上に強く押さないでください。
故障の原因になります。

洗浄は2分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。
さらにご使用になりたい時は再度ボタンを押してください。

ノズル付近から水が少量出ることがありますが、これは温水タンク内の水が温められて膨張して出てくるもので、異常ではありません。
連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。
止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、工務店またはジャニス工業（株）お客様相談係にご連絡ください。

男子小便時には、洗浄ノズルに小便がかからないようにしてください。
故障の原因になります。

ノズルなどに汚れ物を付けないようにしてください。
臭いが出たり、故障の原因になります。

直射日光、インバーター蛍光灯の光がリモコン受光部に当たる場合は、リモコンからの信号を受け付けないことがあります。

**リモコンをストーブなどの近くに置いたり、落としたり、水をかけたりしないでください。
リモコンを便器の中に落とさないでください。**

状態	原因	処置方法
脱臭が途中で止まる	●15分以上着座していませんか。	●連続して着座していると、約15分で脱臭が止まりますので、座り直してください。
においが取れなくなった	●脱臭フィルターにほこりが詰まっていませんか。	●脱臭フィルターのお手入れをしてください。
本体ががたつく	●本体を固定している取付ボルトの締付がゆるんでいませんか。	●取付ボルトを締め付け直してください。
リモコンのランプが途中で消灯する	●リモコンのボタンを押して10秒経過していませんか。	●ボタンを操作すると再度点灯します。

＊周囲温度により、あたたまる時間が異なることがあります。

仕様

形名		SCS-J200D／SCS-J200E
区分		温水洗浄便座　貯湯式
電源		交流100V　50-60Hz共用
定格消費電力		667W
年間消費電力量（2012年度基準）		195kwh/年（271kwh/年※）
省エネ基準達成率（2012年度基準）		94%
使用可能給水圧力		0.07～0.75MPa
給水温度		0～約35℃
温水洗浄装置	おしり洗浄（L/分）	0.6～0.9
	ビデ洗浄（L/分）	0.6～0.9
	水勢調節	おしり、ビデ各3段階
	温度調節	3段階調節（約33℃～40℃）、およびヒーター「切」
	ノズル位置調節	7段階調節
	温水ヒーター	600W
	温水タンク容量	0.91L
	安全装置	サーモスイッチ（温度過昇防止器）、温度ヒューズ、水位センサー
暖房便座装置	温度調節	3段階調節（約33℃～40℃）、およびヒーター「切」
	便座ヒーター	50W
	安全装置	温度ヒューズ
脱臭（SCS-J200Dのみ）	脱臭フィルター	触媒脱臭
	脱臭風量	約0.1m³/分
節電		あり（8時間タイマー節電）
そのほかの安全装置		漏電遮断回路内蔵
外形寸法		幅458mm×奥行536mm×高さ152mm
本体重量		約5.0kg
電源コード		長さ約1.2m

＊使用される環境条件により、変わることがあります。
※節電機能を使用しない場合

（警告つづき）

アース線を接続する

アース線を確実に取り付ける
アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。
次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。
ガス管、電話線、避雷針、水栓など
アースの取り付け（D種接地工事）は、工務店または取付業者にご相談ください。

水を抜く

長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いたあと、温水タンクの水を抜く
発火や水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。

プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない
感電・漏電・火災の原因になります。

上水道を使用する

給水は上水道を使用する
中水道や工業用水の水道に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

禁止

本体や電源プラグ部に汚水や水をかけない
火災・感電の原因になります。

ふき取る

電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る
火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で電源プラグ部を抜き差ししない
感電の原因になります。

プラグを抜く

異常な状態で使い続けない
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止める
・配管や本体から漏水する
・異音・異臭がする
・本体が異常に熱い
・本体にひびや割れが入っている
・本体から発煙
異常な状態で使い続けると、火災・感電・水もれの原因になります。
修理は工務店またはジャニス工業（株）お客様相談係にご連絡ください。

⚠注意

禁止

取扱説明書に記載された用途以外で使わない
火災・感電・けがの原因になります。

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

トイレ暖房用ストーブ・ヒーターやたばこなどの火気類を近づけない
火災・変色・故障の原因になります。

ご使用前に

（つづく）